

令和5年7月

犯罪・交通事故発生状況

(守山区内 R5.6月末現在)

守山警察署

守山区の犯罪発生状況

令和5年6月末現在

1 発生状況

暫定値

区分	守山警察署管内				愛知県内				
	6月	累計	前年対比	増減率	6月	累計	前年対比	増減率	
刑法犯	83	416	+67	+19.2%	119	615	+83	+15.6%	4,121
窃盗犯	53	282	+43	+18.0%	76	414	+45	+12.2%	2,764
署重点犯罪	32	166	+43	+35.0%	44	245	+55	+28.9%	

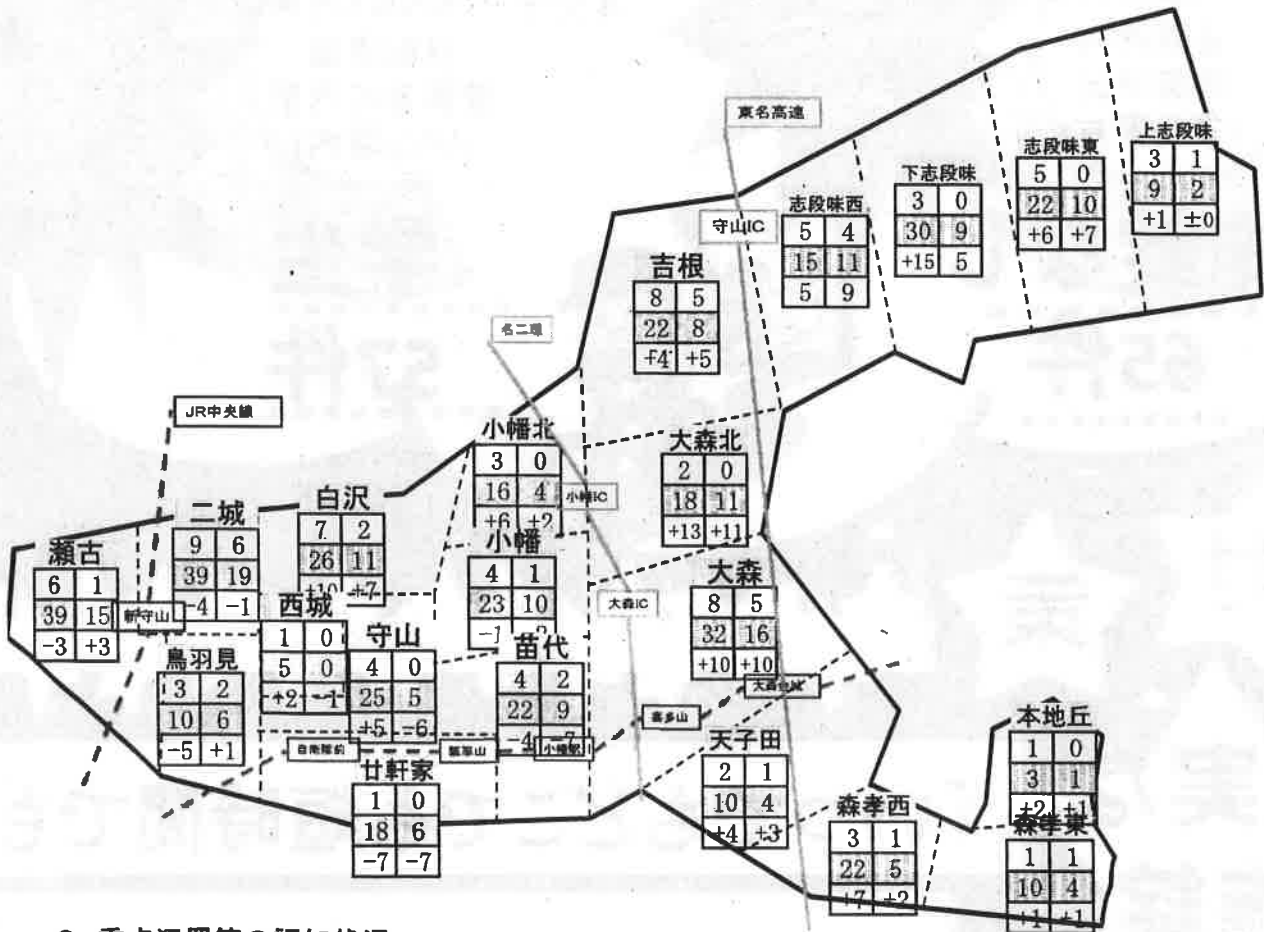
※ 署重点犯罪は、侵入盗、自動車盗、自転車盗及び特殊詐欺の4罪種

2 学区別刑法犯発生状況

【凡例】

学区名

当月刑法犯件数	当月重点犯罪件数
刑法犯年累計	重点罪種年累計
累計の前年対比	累計の前年対比



3 重点犯罪等の認知状況

区分	6月	累計	前年対比	区分	6月	累計	前年対比
強盗	0	0	-1	オートバイ盗	1	5	+4
性犯罪	0	0	-3	自転車盗	20	90	+12
侵入盗	6	43	+21	自販機ねらい	2	2	±0
自動車盗	2	15	+2	ひったくり	0	0	±0
車上ねらい	3	10	-8	特殊詐欺	4	18	+8
部品ねらい	1	23	+9	合計	39	206	+44

防犯ニュース

7月号

守山警察署



自転車盗

に
被害

守山署管内では自転車盗が100件発生！(令和5年5月末暫定値)

施錠あり

35件

令和5年5月末
盗難時の
施錠状況
(守山署内)



無施錠での
被害が多い！

成人

43件

令和5年5月末
自転車盗
被害者の内訳
(守山署内)



被害に遭うのは
学生が多い！

施錠なし

65件



学生

57件

対策

確実な
施錠

「いつでもどこでも短時間でも」

確実な施錠を徹底しましょう

ツーロック
が効果的

ワイヤー錠などで、鍵を2つかけて

防犯力をアップしましょう！

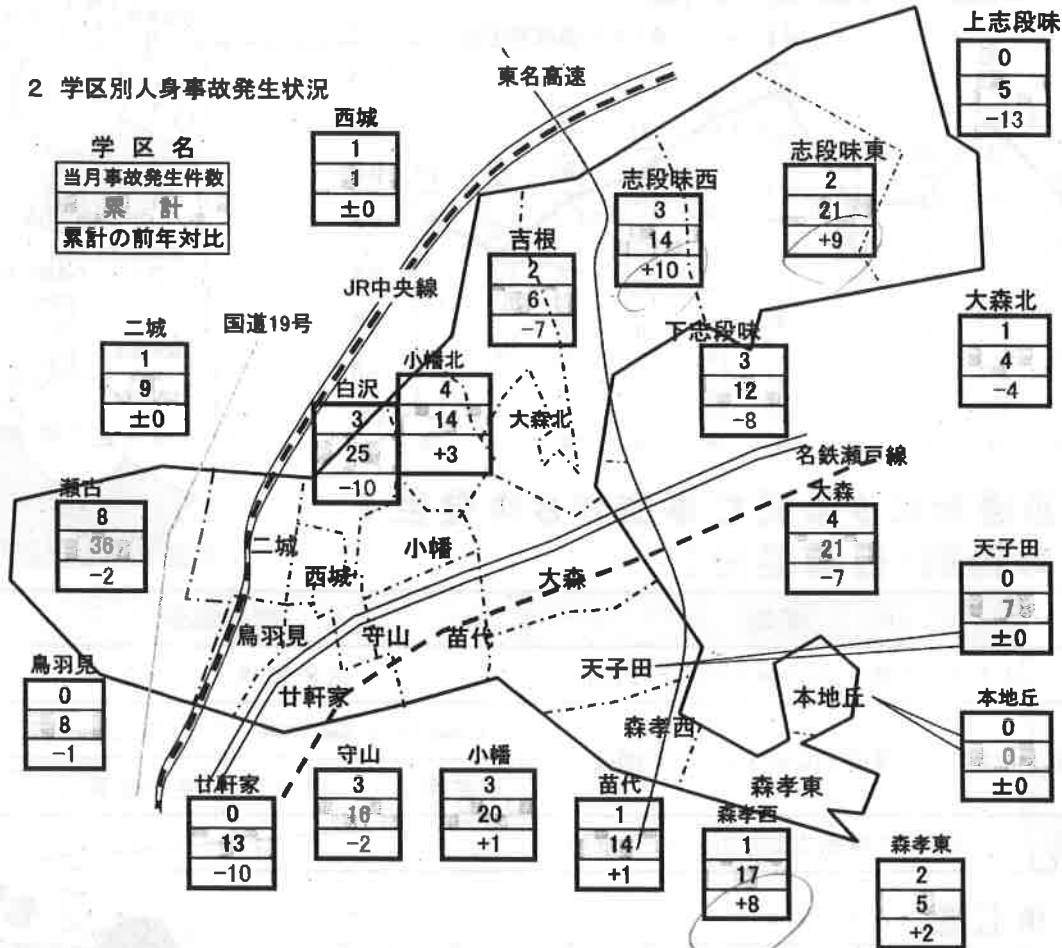
守山区の交通事故発生状況 6月末

1 発生状況

令和5年 6月末現在

区分	守山区				守山警察署管内				愛知県内			
	6月	累計	前年対比	増減率	6月	累計	前年対比	増減率	6月	累計	前年対比	増減率
人身事故件数	42	268	-30	-10.1%	58	399	-13	-3.2%	1,982	11,665	+380	3.4%
負傷者数	51	317	-54	-14.6%	70	470	-48	-9.3%	2,279	13,676	+414	3.1%
死者数	0	2	+2	-	0	2	+2	-	9	72	+3	4.3%
物損事故件数	352	2,021	-21	-1.0%	524	3,013	+88	3.0%	17,365	101,918	+4,751	4.9%

2 学区別人身事故発生状況



3 当事者種別死傷者数(人数)

区分	6月	累計	前年対比
歩行者	6	27	-6
自転車	12	77	-11
原付	1	14	+4
自動二輪	0	12	-10
四輪車	32	189	-27
その他	0	0	-2
合計	51	319	-52

4 時間別死傷者数(人数)

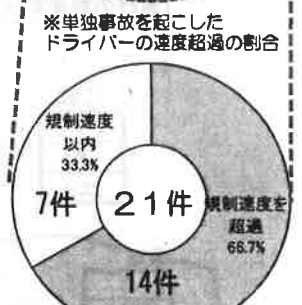
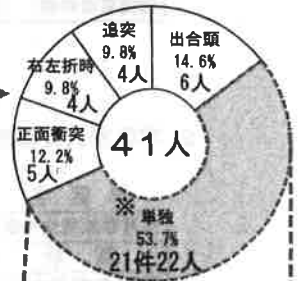
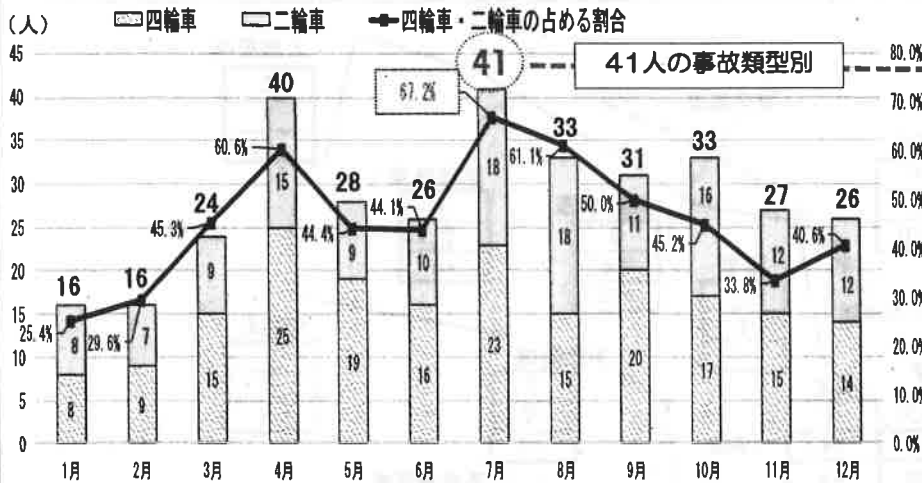
区分	6月	累計	前年対比
朝 A6~A9	12	53	-30
昼前 A9~P0	8	49	-3
昼過ぎ P0~P4	10	75	-13
夕方 P4~P6	5	41	-16
前夜 P6~P10	14	84	+11
中夜 P10~A0	2	11	+6
深夜 A0~A4	0	4	-2
早朝 A4~A6	0	2	-5
合計	51	319	-52

交通事故防止のPOINT



7月は、四輪車・二輪車事故が多発！ ～飲酒運転が年間最多月～

《過去5年 四輪車・二輪車の月別死者数》



7月は、飲酒運転による死亡事故が8件発生！
【飲酒運転の罰則・行政処分】

	罰則	行政処分	
酒酔い運転	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金	免許取消し (35点)	
酒気帯び運転	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	0.15mg/1以上0.25mg/1未満	0.25mg/1以上
		免許停止 (13点)	免許取消し (25点)
飲酒検知拒否	3か月以下の懲役又は50万円以下の罰金		

運転者以外にも.....

依頼同乗	酒気を帯びている者の車両に同乗する。
車両提供	酒気を帯びている者に車両を提供する。
酒類提供	車両を運転するおそれのある者に酒類を提供する。



について、重たい罰則・行政処分が科せられます。



- アルコールは、中枢神経系に作用して脳の神経活動を抑制する物質で運動機能、自制心、動体視力、集中力、認知能力、状況判断力の低下等を生じさせます。
- 飲酒運転は、故意による悪質・危険な犯罪です。
アルコールによる身体機能に与える影響から、交通事故を起こす危険が極めて高くなりますので、絶対に飲酒運転はやめましょう！

※各表は、過去5年 (H30~R4) に愛知県内で発生した交通死亡事故等を分析した結果です。